校長室だより

黒部市立村椿小学校
令和８年１１月９日
文責：校長　齊木 裕

みそパワーってすごいな !!
～みそ作り体験学習より～



11月４日（水）に４年生が村椿公民館に行き、地域の方より、みそ作りを教わりました。子供たちは、みその原料、栄養、みその歴史について、パネルを見ながら説明を受けたり、クイズに答えたりして楽しく学びました。その後、地域の方が事前に蒸した麹と大豆をミキサーですりつぶしたものに子供たちが塩と水を入れて、混ぜ合わせました。地域の方の指導を受けながら、丁寧に柔らかくなるまでこねました。最後に手の平で丸くして、みそ桶に空気が入らないように勢いよく投げ入れました。３月までねかせて、できあがりとなります。

みそ作りが終わった後、みそ汁とみその焼きおにぎりをいただきました。子供たちは、おいしい、おいしいと言いながら食べていました。何度もおかわりをする子供たちが多かったです。子供たちが、おいしく食べることができたのは、以下の理由があったからだと考えました。

- みそ作りを体験したことにより、みそを身近に感じた。
- みその栄養について知ることができた。
- みそが平安時代から作られ、戦国時代にも携帯食として使われたことを知ることができた（先人の知恵）。
- ４年生みんなで、みそを作り、みんなで食べることができた。





2013年には、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されています。みそは、発酵食品の代表的なもので、和食に欠かせないものです。さらに11月５日には、ユネスコの評価機関が、筆や墨を使って文字を手書きする日本の「書道」を無形文化遺産に登録するよう勧告をしました。日本人の文化として受け継がれてきたものが、認められるのはとてもうれしいことです。みそ作り体験を通して、日本人が大切にしてきたみそを子供たちが尊いものだと感じてくれたことに価値があると思いました。